

令和4年度全国学力・学習状況調査

小美玉市の分析結果と課題について



小美玉市教育委員会

令和4年度全国学力・学習状況調査について(概要)

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査を対象とする児童生徒

【小学校調査】小学校第6学年

【中学校調査】中学校第3学年

(3) 調査事項及び手法

① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査〔国語、算数・数学、理科〕

*1:身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

*2:知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

イ 質問紙調査〔児童質問紙、生徒質問紙〕

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問紙調査を実施。

② 学校に対する質問紙

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施。

(4) 調査の方式

悉皆調査(全員対象)

(5) 調査日時

令和4年4月19日(火)

調査結果の分析と改善について

本市児童生徒の学力や学習状況について、成果が見られるところと課題が見られるところについて、その一部を本冊子にまとめています。

課題が見られるところについては、小美玉市学力向上対策委員会で作成した「令和4年度学習指導の改善と充実に向けて」を市内小中義務教育学校の全職員に配布し、それに基づき、指導にあたっています。

例えば、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書くことや、データの特徴や傾向を読み取ること、科学的な探究の過程で問題を見いだしたり考えの妥当性を検討して改善したりすることなどが身に付くよう、授業改善を図ります。

なお、調査結果については、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどに留意が必要です。

令和4年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状（成果と課題）」

【小学校・国語】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容

内容	設問番号	設問の概要・趣旨（成果と課題）
知識・技能	1ー	○ 【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する。（話し言葉と書き言葉の違いを理解する）
話すこと・聞くこと	1三	○ 【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する。（必要なことを質問し、相手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える）
話すこと・聞くこと	1四	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、空欄でどのように話すかを書く（互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。） ▲
読むこと	2三	▲ 【山村さんの文章】の[B]に入る内容として適切なものを選択する。（表現の効果を考える）
書くこと	3ー	▲ 【文章2】の空欄の部分を、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する。（文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える）
書くこと	3二	▲ 【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く。（文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける）

【中学校・国語】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容

領域	設問番号	設問の概要・趣旨（成果と課題）
知識・技能 話すこと・聞くこと	1三	○ スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く（自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す。）
書くこと	2三	▲ 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える（自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。）
読むこと	3二	○ 「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する（事象や行為、心情を表す語句について理解する。）
読むこと	3四	▲ 「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く（場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する。）
知識・技能	4二	○ 最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する（漢字の行書の読みやすい書き方について理解する）

令和4年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状(成果と課題)」

【小学校・算数】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容

領域	設問番号	設問の概要・趣旨(成果と課題)
数と計算	1(3)	○ カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 4$ で求めることができるわけを書く。(示された場面を理解し、除法で求めることができる理由を記述できる。)
数と計算	1(4)	○ 85×21 の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ(示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。)
変化と関係	2(3)	▲ 果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ(示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。)
データの活用	3(1)	▲ 表のしりとり欄に入る数を求める式と答えを書く(表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる。)
図形	4(4)	▲ 示されたプログラムでかくことができる図形を選ぶ(示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる。)

【中学校・数学】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容

領域	設問番号	設問の概要・趣旨(成果と課題)
図形	3	▲ ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ(反例の意味を理解している。)
データの活用	5	○ 容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ(多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している。)
数と式	6(1)	○ 同じ偶数の和である $2n+2n=4n$ について、 n が9のときどのような計算を表しているかを書く(問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。)
データの活用	7(1)	▲ コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴を基に選び、選んだ理由を説明する(データの傾向を明確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて証明することができる。)
データの活用	7(2)	▲ 箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散りばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ(箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる。)
図形	9(2)	▲ $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が30度になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも60度になることの説明を完成する(筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を証明することができる。)

令和4年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状（成果と課題）」

【小学校・理科】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容

領域	設問番号	設問の概要・趣旨（成果と課題）
生命	1(1)	見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ（問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの筋道を構想し、自分の考えをもつことができる。） ○
生命	1(2)	自分の観察の記録と新たに追加された他者の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く（自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。） ▲
粒子	2(1)	一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く（メスシリンダーという器具を理解している。） ○
エネルギー	3(4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く（実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。） ▲
地球	4(3)	結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ（観察などで得た結果を、結果からいえることの観点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。） ▲

【中学校・理科】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容

領域	設問番号	設問の概要・趣旨（成果と課題）
エネルギー	1(2)	タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組み合わせを選択する（モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる） ○
地球	2(2)	気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する（空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる。） ▲
粒子	3(1)	分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す（水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる。） ○
粒子	3(3)	水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとを指摘する（水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもととして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる。） ▲
エネルギー	5(3)	考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを検討する（実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる。） ▲

【児童生徒質問紙調査】

	番号	【 】…質問内容 ※…結果 *…対策
自己肯定感	7	<p>【自分には、よいところがあると思いますか】</p> <p>※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答した児童生徒は約8割で、全国との比較では同程度でした。令和3年度との比較では、児童は3.5ポイント、生徒は6.4ポイント増加し、改善が見られます。</p> <p>*児童生徒の自己肯定感をさらに高める取組を継続していきます。今回の調査では、教職員が児童生徒のよい点や可能性を見つけ褒めていても、そのことが十分に児童生徒に伝わっていないことが明らかになりました。学校生活の中で、一人一人のよい点や可能性をきめ細やかに見つけていくことが大切です。児童生徒とじっくり向き合う時間を確保するとともに、よい点について教職員同士や保護者と情報交換をしていきます。</p>
家庭学習	21	<p>【学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強する時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）】</p> <p>※「1時間以上」と回答した児童は62.6%で、国と比較すると3.2ポイント上回りました。一方、「2時間以上」は7.2ポイント下回りました。また、「2時間以上」と回答した児童は31.2%で、国と比較すると4.0ポイント下回りました。</p> <p>*本市の「家庭学習のすすめ」では、家庭学習の時間のめやすを小学校高学年60分、中学生120分とし、発達段階に応じた学習例を示しています。また、タブレットを活用し、デジタルドリルや調べたことをまとめる学習に取り組みやすい環境が整ってきています。児童生徒自らが個々の習熟度や興味関心に合った家庭学習ができるよう、指導していきます。</p>
話し合い	43	<p>【学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか】</p> <p>※「当てはまる」と回答した児童は31.3%、生徒は31.4%で、県や国との比較で3%以上、下回りました。同様の傾向は道徳にも見られます。</p> <p>*学校質問紙調査では、「授業において、児童（生徒）の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか」という質問に対して「よく行った」と回答した学校は、県や国を下回っています。児童生徒の考えを深めたり広げたりする発問や場の設定、ICT機器の使用場面の工夫などが求められます。児童生徒が話し合いを通じて、学習内容をより理解し、学習意欲を喚起できるようにしていきます。</p>